

授業の実際

伝えたかった道徳的価値観

夏休みに入る前の授業として、安全に気を付けて生活すること(節度、節制)とそれはなぜなのか→命を大切にすること(生命の尊さ)ということ。

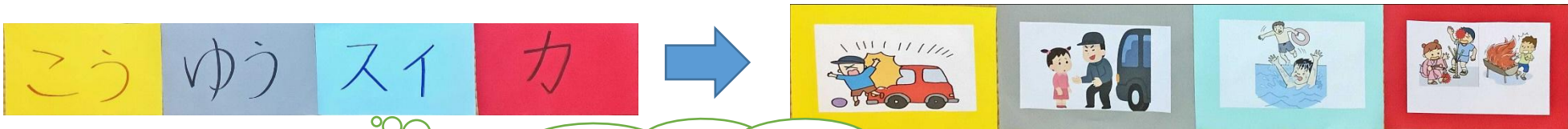
本校独自の内容項目表との関連

	小学部1段階	小学部2段階	小学部3段階	中学部1段階	中学部2段階	高等部1段階	高等部2段階
A 主として自分自身に関する事							
善悪の判断、自律、自由と責任	よいことと悪いことの区別を知ること。	よいと思うことと悪いことの区別をし、よいと思うことを行うこと。	よいと思うことと悪いことの区別をし、正しくないと思判断したことは行わず、よいと思うことを進んで行うこと。	正しくないと思判断したことは人に勧めたりせず、きっぱりと断ったり、止めたりし、正しいと思判断したことは、自信をもって行うこと。	自律的に行動すること。		
正直、誠実	うそをついたり、ごまかししたりしないで、素直に生活すること。	過ちを素直に改め、正直に明るい心で生活すること。	人の失敗を責めたり笑ったりせず、明るい心で生活すること。	周囲に流されたり、傍観者で過ごしたりするのはなく、誠実に明るい心で生活すること。	正直であることに改めること。		
節度、節制	わがままをしないで、健康や安全に気を付け、身の回りを整え、規則正しい生活をする。	健康や安全に気を付け、物を大切に、身の回りを整え、規則正しい生活をする。	自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある生活をする。	安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、よく考えて行動し、自ら節度を守って生活すること。	安全に気を付けること。		
個性	自分の好きなことやものを知ること。	自分の得意なことを知ること。	自分の得意なことに気付き、伸ばそうとする。	自分の得意なことや苦手なことを知ること。	自分の得意なことや苦手なことを知ること。		
集団生活の充実					自分の役割を自覚し、生活の充実のために努力すること。	多くの自分の役割を自覚し、生活の充実のために努力すること。	団の中で自分の役割を自覚し、生活の充実のために努力すること。
D 主として生命や自然、崇高なものに関すること							
生命の尊さ	生きていることを感じる。	自分の命を大切にすること。	自分の命や生き物の命を大切にすること。	生きていくことのすばらしさを知り、生命を大切にすること。	生命がなくなっていくことを理解し、生命を尊重すること。	多くの人々の支え合いの中で生命がなくなっていくことを理解し、生命を尊重すること。	D 主として生命や自然、崇高なものに関すること 多くの人々の支え合いの中で生命がなくなっていくことを理解し、感謝の気持ちを持って、生命を尊重すること。
自然愛護	自然や動植物と触れ合い、親しむこと。	身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。	自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすること。	自然のすばらしさや不思議さを知り、自然や動植物、自然環境を大切にすること。	自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。	自然の偉大さと驚異を理解し、自然環境を大切にすること。	自然の偉大さと驚異を理解し、進んで自然環境の愛護に努めること。

生活習慣の大切さ(早寝早起き)などは、この生徒たちは前年度に学習していましたので、今回は安全に気を付けること、それは「命」を大切にすることだよというところに焦点を絞って学習しました。

展開

・気を付けてほしいこと4つを色画用紙で提示



色もヒントになっていることを伝え、生徒に考えてもらいました。黄色の「こう」は「交通事故!」とすぐに答えが返ってきました。

ひっくり返すとイラストが表れるようにしました。

・水の事故・交通事故の動画

NHK for School の「子ども!安全リアルストーリー」の動画を見て、どんなことに気を付けなければならないか、どうすればいいのかを具体的に学習しました。少し、道徳的ではないかもしれませんが、必要なスキルを身に付けることは、「抽象的な内容よりも実際的な生活場面の中で、具体的に思考や判断、表現できる

ようにする指導が効果的である」という、知的障害のある生徒の学習上の特性を考えると、必要なことだと本校では考え、道徳的価値とともに具体的にやってみることやスキルの学習も取り入れています。

具体的に、自分で自分の命を守る方法を知ってほしい!



本当は、さらにこれを特別活動などの時間に実践してみることができれば、子ども達のスキル獲得によりつながると思うのですが、そこまではできませんでした…

・「○○○を守ろう」の○に当てはまる言葉を考える

生徒からは、「きそく」「やくそく」など普段聞きなれ、よく言われているであろう言葉が出てきました。「規則や約束は守らないかんね」と受け止めつつ、4つの気を付けてほしいこと(こういうスイカ)の掲示に戻り、「何のために気を付けるのか」と再度問い直しました。この学年はこれまで「生命の尊さ」については学習しておらず、「いのち」という言葉が出てこないのは、予測していましたので、初めの文字は「い」最後は「ち」などヒントを出していきました。最後は、「命を守るか～」とみんなストーンとおちてくれたようでした。

授業をしてみても

「いのち」という言葉は出なかった生徒たちでしたが、その後の特別活動で夏休みに入る前の話をする際には「命を守るやろ!」と学習したことを発表してくれる生徒もあり、キーワードとなる言葉をきちんと教えることの大切さを感じました。2学期以降またどこかで、別の教材を使い、命について考える時間をもつとさらに理解を深め、道徳性を高めることができるのではないかと考えます。

また、NHKの動画はなかなかリアルに作られており、一定の理解ができる生徒たちには、浮かれた夏休み気分を少し引き締めることができたように思います。早寝・早起き・朝ごはん・手伝いをしようなど夏休み前にはどの学部も取り組んでいることですが、その学年、実態、既習事項などに応じて、様々な切り口の取り組み方ができるかなと思います。